

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院



外科部の紹介 Q & A

公立丹南病院 外科部主任部長・在宅事業部長 北島竜美



◎ 外科部とは？

A. 外科部には外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、リハビリテーション科の10診療科が含まれます。

◎ 診療内容は？

A. 外科部に属する診療科は、手術を要する疾患群の診療に携わる専門性の高い診療科のまとまりです。一人で手術を行う場合もあります。通常の高い診療科の医師が麻酔科医師と協働して手術を行います。手術が成功すれば大変喜ばれますが、予期せぬ偶発症や重篤な合併症で医療過誤や医療訴訟に及んでしまう危険性もあります。責任の重い仕事であることは全ての外科医師が自覚しています。手術を要しない疾患を担当することも多く、カテーテル検査やリハビリテーションの指示、がんやリウマチ疾患などに行う化学療法といわれる薬物治療なども行います。更にがんなどの生命をおびやかす疾患の問題に直面した方々への緩和ケアにも深く関わっています。

◎ 病院移転後変わったことは？

A. 病院設備や医療機器の整備のおかげで、外来・入院の患者数や手術件数が伸びています。外科部スタッフがチーム医療に徹し、多職種と協働して努力精進したことが新病院効果とあいまって結実したものと考えます。基本理念に基づいた医療を提供することを誓い、患者さんと家族のみなさま、職員、地域全体の満足と幸せ(4S)を目指して、質の高い医療、正確な診断と安全な治療、明るい接遇に努めたいと思います。

◎ これからの外科部は？

A. 患者さんの希望と生活の質(QOL)を重要視し、無意味な拡大手術や無益な薬物療法は行わない方針で、危険を最小限に抑えるよう安全かつ合理的な医療を心がけます。複数医師の確保や手術に必要な医療機器の整備を進め、医療の質の向上を目指します。4Sを目指し、多職種で協働連携しながら地域に密着した医療の充実に努力します。

認定
看護師
活動紹介

救急看護認定看護師



外来
大塚ゆかり

みなさま、はじめまして。

私は2012年6月に救急看護認定看護師の資格を取得し活動を始めました。

「認定看護師」とは、公益社団法人日本看護協会が認定した教育機関で教育を受けた後、認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた者とされており、現在は21の特定分野に分かれています（日本看護協会ホームページより）。

救急看護の担う役割は、救命技術や救急看護技術の実践・指導、救急医療現場における患者のトリアージ及びケアの実践と研究、危機的状況にある患者及び家族への看護、災害急性期看護など多岐にわたります。

救急外来は、予告なく、疾患・性別・年齢・症状を問わずさまざまな患者さんが訪れます。私たち救急看護に携わる者は、その限られた時間の中で即座に状況を判断し、対応していくことが求められます。そのために日頃



から最新の知識を習得すること、最良のケアを提供するための技術を維持する努力は欠かせません。また、救急看護認定看護師としての最大の役割は、自己研鑽のみでなく院内全体の救急看護のレベルアップを図ることだと感じております。さまざまな研修や講習会を通して、院内外の看護師とともに救急看護を学び、救急看護の魅力を伝えながら、丹南地域のみなさまが満足し幸せに、そして安心して暮らせる地域づくりに、微力ながら貢献できるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



救急部総合診療科の紹介



こんにちは。公立丹南病院救急部総合診療科の岡田と申します。

これまで救急総合診療科として、瀧波Dr、内山Drが所属されていましたが、この度、岡田と山中の2人が加わり、救急部として始動することになりました。

これまでは救急車を含め、救急診療はそれぞれの科の当番医が対応しておりましたが、この4月からは主に我々2人が救急車対応、あるいは徒歩来院された、緊急対応が必要な方への対応を、一手に引き受け、初期対応を行うこととなりました。

私と山中は福井県が募集している救急医育成コースのメンバーとして、2011年に福井に参りました。そして最初の2年間で福井県立病院の救命救急センターで研修を行い、3年目の今年度から当院にて勤務を開始しました。

これまでは公立小浜病院救命救急センターが受け入れ先だったのですが、今年から当院での受け入れが始まりました。そのため、救急部という診療科を立ち上げるといふ仕事を同時に行うこととなりました。

着任して丸3カ月が過ぎましたが、徐々に救急搬送依頼が増えております。また、近隣の開業医の先生方から、我々救急部へ直接ご紹介いただく例も増えてきているように思われ、救急部の認知が進んでいる印象です。

さて、より高度な救急診療にはスタッフが必要です。そのため、院内での勉強会などで重症患者をいち早く感知するための知識の共有に努めていきたいと思っております。加えて、当院での研修を希望する医師が1人でも多くなるよう、当院の魅力を発信していこうと考えております。

また、今後受診いただくみなさまも、当科受診の際に長い待ち時間が生じる可能性もあると思われるかもしれません。また、あとから来院された方が優先的に救急部に案内されるなど、疑問に思われることもおありかと思えます。しかし、やはり当科としては緊急処置を要する方への診療を優先する必要があります。医学的判断を根拠としておりますので、どうかご理解いただき、温かい目で見守っていただけましたら幸いです。



公立丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620
ホームページ: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
メールアドレス: tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション

〒916-0021 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151
メールアドレス: tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター なごみの里

〒916-0021 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-nagomi@jadecom.or.jp

